

令和 7 年 10 月 31 日

守谷市議会議長 殿

委員長：田中 啓一 印

報告者：高橋 典久 印

総務教育常任委員会視察・研修報告

標記の件について、次のとおり参加したので報告します。

視察・研修日		令和 7 年 10 月 28 日 (火) 9:30～11:00
視察・研修場所		かほく市役所会議室
視察・研修項目		シティプロモーションを通じた移住・定住施策の推進
参加者	守谷市側	田中啓一委員長、山本広行副委員長、高橋典久委員、長谷川信市委員、青木公達委員、海老原博幸委員 市長公室長:浜田耕志、 議会事務局:恩田耕介
	相手側	副議長:野田稔彦 議会事務局:西盛豊樹局長 地域創生課:荒井三盛課長、吉田奈央係長
視察・研修目的		シティプロモーションを通じた移住・定住施策の推進
視察・研修内容		ライフステージに応じたトータル支援による施策の展開 【若者の定住・移住に向けた施策】 ○かほく市若者マイホーム取得奨励金(H22～) 一戸建て住宅を購入→最大 215 万円交付 ○かほく市新婚さん住まい応援事業補助金(H23～) 40 歳未満が賃貸住宅に入居→月額 1 万円を最大 2 年間 ○かほく市 UIJ ターン住まい補助金(H31～) 45 歳未満の若者世帯が県外から賃貸住宅に入居→月額 2 万円を最大 2 年間 ○かほく市奨学金返還支援補助金(R4～) 30 歳未満で市内事業所に正規雇用→20 万円を上限、最大 5 年間補助 【子育て支援施策】 ○赤ちゃんすくすく応援事業 新生児 1 人につき「かほく市共通商品券」贈呈 ○不妊・不育治療費助成の拡充 自己負担分について市が助成 ○18 歳までの子ども医療費助成 入院通院の自己負担分について全額助成

	<p>○高校通学定期券購入支援事業 定期券購入費用の半額を助成→高校3年間の36か月</p> <p>【定住促進施策の効果】</p> <p>○H22のかほく市人口 35,023 人→R6のかほく市の人口 36,231 人 (1,208 人増)</p> <p>○R6かほく市計画人口 33,944 人(H22)→±2,287 人増</p> <p>全ての学年で出生した年よりも増加していることから、子どもを連れてかほく市へ移住していることがわかる。</p> <p>【近年のシティプロモーションの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15 秒テレビスポット CM の制作、放送 ・映画上映幕間を活用したプロモーション活動 ・かほく市公式 SNS の活用 ・かほく市ふるさと大使による PR(ヤクルトスワローズ奥川選手など)
--	--

1

視察・研修総括 (今後の取組み等)	<p>○定住促進事業については県内外の核自治体で鋭意取り組んでおり、特色のあるものを出していく必要がある。</p> <p>○アウターブランディングとインナーブランディングをバランスよく展開していくことで、「転入促進」と「転出抑制」を実現していく必要がある。</p> <p>○費用対効果としての事業評価が見えにくい。</p>
----------------------	---

2